とちぎ市民活動推進センターくらら情報紙　VOL.210

くらら

2023年
4

4年ぶりに！

くららフェスタを開催しました

つづきは中面へ

新日本婦人の会☆絵手紙の展示

ハーモニー☆折り紙の展示

栃木市子ども食堂ネットワーク☆遊び場

吉屋信子記念会☆パネル・本の展示

渡良瀬くらぶ☆ヨシ細工の展示

障がい者の一人暮らしを考える会☆飲物販売

栃木保護区保護司会ほか☆展示

栃木市中途失聴難聴者協会☆バザー

太平山麓九条の会☆戦争・平和の展示

登録更新のお知らせ

次の登録番号の団体は、登録更新の年となりますので更新手続をお願いします。

0001～0213　0311～0335　0371～0396　0427～0454
0474～0508　0530～0550　0569～0585　0598～0603

ロッカー（1,500 円／年）・メールボックス（無料）をご利用の団体は、４月末までに更新手続をお願いします。ロッカー代は、くららで直接お支払いください。

くららフェスタ２０２３

3 月 12 日（日）10：30〜15：00
キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 1･2 階　来場者約 200 人

4 年ぶりのこの日を楽しみに準備してくださった皆さん、本当にありがとうございました🌸
1 面の出展者紹介のつづきです。◎かこさとしさん『わっしょいわっしょいぶんぶんぶん』の幻燈会【太平山麓九条の会】◎風情ある栃木の写真と草笛の演奏【草笛童子の会】◎更生保護や子育て支援、健康づくりについての展示【栃木保護区保護司会・栃木市更生保護女性会・医療生協栃木】◎高校生メンバーによる指文字しりとり【栃木市中途失聴難聴者協会】◎着物帯のリメイク品販売【新日本婦人の会栃木支部】◎オリジナル和二胡等の体験試奏【渡良瀬くらぶ】◎フードドライブ（食品回収）【栃木市子ども食堂ネットワーク】◎海のプラスチック問題を考える展示【阿久津海さん（大正大学４年）】◎渡良瀬遊水地版 SDGs を考える企画の紹介【中嶋陽大さん（開智未来高校２年）】◎ごみゼロゲーム【くらら】◎コーヒーボランティア T さんのおいしい珈琲サービスもありました☺ たくさんの方々の交流・協働の輪を広げていけるよう、来年もよろしくお願いします！

草笛童子の会☆栃木の写真展示

中嶋陽大さん☆渡良瀬遊水地版 SDGs 企画の紹介

阿久津海さん☆エコなアクセサリーづくり体験

くらら☆ごみゼロゲーム CO2 削減 GAME

市民活動推進講座 私の思い出の味〜多文化料理交流会〜

韓国料理キンパをつくろう

2 月 18 日（土）10：00〜13：30
キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 調理室　参加者 17 人

　韓国出身の金奉子さんを講師として招き、韓国料理のキンパをつくりました。ネパール、フィリピン、日本といった様々な国の方々が参加しました。会の途中、「多様な人々が一緒に暮らしていくためにどんなことが大切か」というテーマで、多文化共生を活動テーマに掲げる TABUWATA 代表の栗又由利子さんが聞き手となり、金さんのお話を聞きました。金さんは来日当初、日本特有の曖昧な言い方や遠回しに表現するコミュニケーションスタイルに戸惑いを感じたそうです。歯医者に行ったときに幼い子どもを扱うような態度をされたことで嫌な思いをしたこともあるといいます。「多様な人々が一緒に暮らすには」という問いかけには、「言葉の選び方や態度など、ちょっとしたことから見直してもらえたら。言葉が間違っていることがあれば、遠慮なく教えてほしい」と話されました。
〜主催者コメント〜金さんから日本に住みながら感じている想いを聞くことで身近な問題として「多文化共生」を考えることができました。「外国人」という括りをつけて接するのではなく、一緒に活動をしながら関係性をつくっていくことが大切です。料理を通じて交流することで、お互いがどんなふうに関われればよいのかを体感できる機会になったのではないでしょうか。好評だったので、今後も交流の機会をつくっていきます。

イベント情報

九条の会・栃木　栃木革新懇
五月三日憲法記念日集会　落語で憲法

平和主義を宣言し、基本的人権を守る日本国憲法の素晴らしさを楽しく学び、再発見できます

日　時：2023 年 5 月 3 日（水・祝）
　　　　13：30 開場　14：00 開演
場　所：とちぎ健康の森 講堂
内　容：八法亭みややっこ氏（飯田美弥子弁護士）
　　　　による「憲法落語」
参加費：無料
問合せ：とちぎ市民法律事務所
　　　　TEL　028-636-6103
　　　　栃木革新懇
　　　　TEL　090-4423-2202

栃木市立美術館
開館記念展　明日につなぐ物語

栃木市ゆかりのすぐれた美術作家を紹介します

日　時：2023 年 4 月 15 日（土）～6 月 18 日（日）
　　　　9：30～17：00　休館日　毎週月曜日
場　所：栃木市立美術館
内　容：喜多川歌麿や田中一村、雲田はるこ氏ら
　　　　の美術作品の展示
参加費：一般・大高生 1000 円　中学生以下無料
問合せ：栃木市立美術館
　　　　TEL　0282-25-5300

栃木市立文学館
没後 50 年　吉屋信子と栃木

栃木市ゆかりの作家吉屋信子の作品を展示します

日　時：2023 年 4 月 15 日（土）～9 月 3 日（日）9：
　　　　30～17：00
　　　　休館日　毎週月曜日、祝日の翌日
場　所：栃木市立文学館 2 階多目的室
内　容：吉屋信子が栃木時代を書いたエッセイや
　　　　初期作品の展示
参加費：一般 330 円　中学生以下無料
問合せ：栃木市立文学館
　　　　TEL　0282-25-5400　FAX　0282-22-5169

栃木県　社会福祉法人とちぎ健康福祉協会
ねんりんピックとちぎ 2023　作品募集

みなさんが趣味として創作した作品を、たくさんの人に見てもらいませんか

募集部門：日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真
参加資格：60 才以上で、県内在住のアマチュアの方
参 加 費：無料
申込方法：「シルバー作品展申込書」に必要事項を
　　　　　記入し、下記の問合せ先へ郵送・FAX・
　　　　　直接提出のいずれかの方法
応募期間：2023 年 4 月 30 日（日）まで
問 合 せ：とちぎ健康福祉協会
　　　　　TEL　028-650-3366　FAX　028-627-2522

むじーく・ぶなの森
蔵の街絆コンサート Ensemble Otto Voci with TEHO
～オットヴォーチと奏でる啼鵬の世界～

日本を代表する 8 名の女性サクソフォン奏者と、作編曲や演奏家として活躍の啼鵬氏との共演

日　時：2023 年 5 月 3 日（水・祝）開場 13：30　開演 14：00
場　所：とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）小ホール
参加費：一般 3,000 円　高校生以下 2,000 円
問合せ：むじーく・ぶなの森　TEL　0282-20-5055

レポート　令和４年度　くらら利用者協議会研修会

「食」でつながるあたたかい地域～食品ロス対策とフードバンク～

フードバンク活動とは…
企業やご家庭においてまだ賞味期限はあるけれど、様々な理由により捨ててしまう食べ物を寄付していただきその食品を必要としている施設や団体、困窮世帯へ無償で提供する活動

栃木市内でも子ども食堂の活動が行われていますが、その中で食品の寄付をいただくことが増えてきています。今回は、フードバンク活動について考えるための研修会を行いました。徳山篤さん（フードバンクうつのみや 理事長）をお招きし、ご講演いただきました。その後、お話をもとに意見交換会を実施しました。

リーマンショックの影響で、派遣切りなど生活が困窮している人の相談を受けたことをきっかけに、とちぎボランティアネットワークの一部署としてフードバンクうつのみやがスタート。会員などを通じて食品を集め始めた。県内各所で研修会を実施し、日本初のフードバンク、セカンドハーベストジャパンの研修を受けた。

2011 年に本格的にフードバンク活動を開始。初めは被災地支援だった。栃木県には、原発事故による避難者が 2,700 人いたため、生活において重要な食糧の支援をはじめたのが最初の仕事だった。2019 年 NPO 法人化。食品を渡すだけでは解決しない、生活相談をセットにしたフードバンク活動にするため、社会福祉士を中心に生活相談を展開。実践的な研修を受けたボランティアによる生活相談も行っている。2018 年の相談件数 681 件に比べ、2022 年は倍増していて、利用者が非常に多くなってきている。

フードバンクを始めるときの注意点はいくつかある。運営面では、スタッフ（職員・ボランティア）の体制、法人化するかどうかが挙げられる。広報面では、どのようにフードバンク活動を知ってもらうか、どうやって応援してくれる方を増やしていくか、認知してもらう工夫が必要になってくる。食品管理面では、食品の保管に適した場所を確保できるか、賞味期限の決め方など、検討することになる。栃木市の民間フードバンク設立に向けて、可能な範囲からはじめてみること、できれば持続的な運営が望ましい。

参加者からは「どういう方が日常的に利用されているのか」、「学校・自治会との連携について」など、具体的な質問が多く、実現に向けて動き始めるための良い機会になりました。また、栃木市を中心に活動する団体や事業者のみなさんの良い情報交換の機会にもなりました。地域の「食」を地域で分け合っていきましょう。

とちぎ市民活動推進センターくららとは
ボランティア、NPO、社会貢献活動などの市民活動を推進する拠点です。栃木市をよりよくしようと、さまざまな分野で活動している市民の皆さんの意見交換や交流、情報収集・発信の場として活用されています。

開館時間　月～土　10：00～21：00　日・祝　10：00～17：00
休 館 日　水曜日・年末年始
〒328-0016　栃木県栃木市入舟町６-８　キョクトウとちぎ蔵の街楽習館内
TEL　0282-20-7131　FAX　0282-20-7132
E-mail　kurara-tochigi@cc9.ne.jp
ホームページ　http://www.kurara-tochigi.org

※くららは、NPO 法人ハイジが栃木市の委託を受けて管理運営しています

編集後記

桜の舞う季節になりました。今年は例年より少し早い開花になったようです。その影響で花まつりも少し時期を前倒しして開催されていますね。これも温暖化の影響なのでしょうか。春に桜を見られるのは実は貴重なことなのかも。（大塚）

登録団体数：２６３団体
会員数：２５，４８３名
（令和５年４月１日時点）